

長野中央病院

だより

しなのき

創刊号

2014.7.1

特集

## 意外と知られていない 「心臓カテーテル法」

## 新MRI稼働

長野中央病院は、こんな病院です

NEWS & INFORMATION

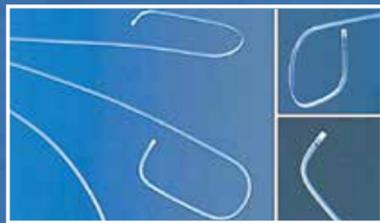
- 広報誌「しなのき」発行のご挨拶
- 170人が参加、多職種合同の演題発表会開く
- こんにちは、患者支援室です
- 楽しく感染対策

# 意外と知られていない 「心臓カテーテル法」

心臓病は、日本の死亡者数の比率で、ガンに次いで第二位の病気です。当然ながら、その治療法についての関心は高く、最近、マスコミでも、「心臓カテーテル法」という医療用語をよく見かけるようになりました。では、どのような時に、どのような方法で、治療が実践されているのでしょうか。一步踏み込んだその詳細について、一般には意外なほど知られていません。もとはドイツ生まれの方法ですが、長野県では1985年頃から導入され、いまや信頼性の高い検査・治療法となっている「心臓カテーテル法」。今回の特集では、その基礎知識から実際の治療法までご紹介いたします。

## そもそも心臓カテーテルとは？

「カテーテル」とは「管」をあらわすドイツ語 *katheter* の日本語読みです。この細長い管を大腿部や肘等の血管から心臓の近くまで挿入して、検査と治療のどちらでも使用できるのが「心臓カテーテル法」の大きな特徴です。また、胸にメスを入れることなく、血管の中から行える内科的治療であるため、麻酔のとき以外は痛みもなく、外科的な手術に比べて患者さんの負担が少ないのもメリットのひとつです。



## 心臓カテーテルによる検査の仕方は？

**心臓** 病の検査には心電図や超音波検査、CT検査、心臓MRI検査などがありますが、カテーテル検査によって病態がより詳細に把握でき、よりの確な治療法の選択が可能になります。最小限のプロセスであれば、検査そのものは15～30分で終了します。

**手首** などの静脈から管を入れる「右心カテーテル検査」では、肺の血管の圧力や、心臓から送り出される血液の量から、ポンプとしての能力を知ることができます。手首や足のつけ根などの動脈から管を入れる「左心カテーテル検査」では、冠状動脈(\*)の状態や左室などの動きを調べる検査を行います。また、不整脈の原因や程度を知るために、電極カテーテルを挿入して心内心電図をとる電気生理学的検査も行われています。

\*冠状動脈…心臓の上に冠のように乗っている血管で、心臓へ酸素や栄養分を送っている。冠状動脈が詰まると血流がなくなり、その先の組織(この場合心臓)の筋肉が壊死してしまいます。

## カテーテルによる代表的な治療方法は？

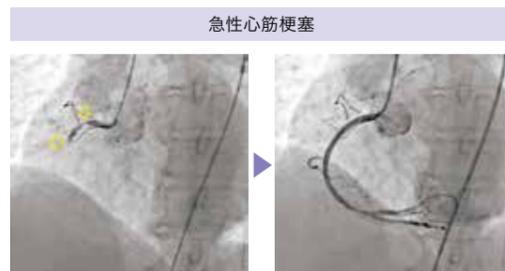
**一般** 的に、心臓カテーテル治療は冠状動脈に対する治療を指しています。実際は、まず局所麻酔をして、手首や足のつけ根の動脈から管を入れ、冠状動脈に対して様々な処置を施します。代表的なものは、バルーン(風船)を挿入して狭くなった血管内で膨らませて拡張させる方法や、ステント(網状の金属)を用いて再び血管が狭くなるのを防ぐ方法です。さらに、1分間に約20万回回転するロータブレード(高速回転ヤスリ)を使って、血管内の石灰のように硬くなった部分を削り、血管を広げるという方法もあります。



## 治療の対象となる病気とは？

**心臓** 病には、狭心症・心筋梗塞といった虚血性心疾患と、不整脈、弁膜症、心筋症、先天性心疾患などがあります。虚血性心疾患の中でも、狭心症は、冠状動脈が狭くなったり詰まったりすることで、先端の血管の血流が少なくなり、一時的に息苦しい、胸が締めつけられるといった症状が出ます。心筋梗塞は、さらに状態が悪化して冠状動脈が詰まり、心臓の筋肉細胞が死んでしまい機能が低下する病気です。

**心臓** カテーテル法の対象となる患者さんは、このような虚血性心疾患がもつとも多く、大半を占めています。その他に弁疾患などの後天性、あるいは一部の先天性疾患、下肢の動脈硬化や胸腹部の動脈瘤、重症な不整脈を持つ患者さんも治療対象となります。



急性心筋梗塞  
冠動脈が狭くなり血流を阻害 血管を太く流れるように治療

## 当院の心臓カテーテル治療の実績

**心臓** カテーテル治療のなかでも、特に高度な技術を要求される「逆行性アプローチ」という手法があります。これは、詰まっている冠状動脈が高度に石灰化していてカテーテルが通らないなどの場合に、別のルートからつながっている血管を介して、逆側から広げる治療法です。心臓病の手術を以前に受けた方や高齢者の肉体的負担の軽減のために、当院ではこの手法を選択することがあります。スキルの難易度が高いため、この手法を選択できる施設は限られています。

**当院** は2013年の1年間で、心臓カテーテル治療(経皮的冠動脈形成術:PCI)を471件実施しました。ここ10年間は平均400件前後で推移しており、これは県内でも有数の実績と言えます。また、心臓カテーテル検査のための専用設備を備えた2つの心臓カテーテル検査室と、ハイブリッド手術室があり、カテーテル技術の資格を持つ医師5名が在籍(2014年3月現在)するなど、当院は治療が必要な患者さんに対していつでも迅速に対応できる体制をとっています。

### 循環器科 診療統計

2013.1.1~2013.12.31

心臓カテーテル法	トータル	2172
経皮的冠動脈形成術 (PCI)		471
ペースメーカー植込み術		81
経皮的カテーテル心筋焼灼術 (ablation)		234
経皮的血管形成術 (PTA)		71





長野中央病院は  
こんな病院です

### ❖ 当院ならではのハイブリッドな連携

**現在、** 心臓病の中でも狭心症や心筋梗塞の治療法としては、内科的な「薬物治療」と「心臓カテーテル治療」、そして外科的な「バイパス手術」があります。患者さんのコンディションや症状の程度によって、総合的かつきめ細かな対応をしなければなりません。

**当院** では、毎朝、循環器内科医と心臓血管外科医による合同カンファレンス（症例検討会）を開き、患者さん一人ひとりの症例に対して最善策を検討しています。バイパス手術後にカテーテル検査をしたり、内科と外科との領域を超えた複雑な対応策が要求されるケースも少なくありません。独自のハイブリッド手術室は、このような必要性から生まれた高度医療を実践する設備であり、内科と外科のスムーズな連携も当院の大きな特色です。



### ❖ 「まごころ」と「やさしさ」を基本にした医療

**まっ** たく同じ性格の人間が存在しないように、まったく同じ症例の患者さんも存在しません。当院では、心臓病の膨大な治療実績がありながら、その実績に甘んじず、何よりも予習を重ねて治療に臨むことが大切だと考えています。

**長野** 中央病院は、治療を必要とされている多くの方々をその苦しみから解放したいという社会的な使命感を持っています。この使命を達成するために、私たちは、一人ひとりの患者さんに対して、誠心誠意の「まごころ」をもって向き合います。耳を傾けることから、治療が始まります。そして、どのような処置が本人にとってベストかを真剣に探ってまいります。まず何よりも患者本位であること、それがほんとうの「やさしさ」であり、医療の本質であると考えています。



# 新MRI稼働

## 最新の超伝導式3テスラ\*MRI装置

国内最高クラスのMRIが今年4月に稼働しました。  
既存の1テスラMRI(2001年稼働)を凌駕する“高性能”と  
“洗練された技術”を搭載した装置で  
『より優れた検査』を提供致します。

**高画質：**小さな病気の発見や病変の深達度などの描出に  
優れ、治療方針を決定することに役立ちます。

**快適性：**トンネルが大きく開放的な空間で  
従来よりも自由な姿勢で検査ができます。  
呼吸や体動による画質低下を抑える技術の  
進歩により、体調に合わせた検査が可能です。

**地域医療の中核として：**救急・急性期から慢性期まで  
幅広い医療を展開する長野中央病院では、  
他院からの紹介MRIや、高度な技術を要する  
心臓MRIなど様々なニーズに対応。  
新MRIでさらに充実した医療を展開いたします。  
MRI検査は医療用金属などの種類によっては  
検査に支障をきたす場合もありますが、  
できる限り多くの方々に『安心・安全』のMRIを  
提供するため努力していきます。



\*テスラ… 磁場の強さを表す単位で、数字が大きいかほど強い磁場を発生し、  
高磁場であるほど高画質になります。

広報誌「しなのき」発行のご挨拶



院長 山本博昭

長野中央病院では、以前より、その医療内容について「みんなの医療」で毎月お知らせしてきました。このたび、大きく増改築したのをきっかけに、当院の医療内容を深めてお知らせするために広報誌を年4回のペースで発行することにいたしました。名称を、地域に根差した医療を行う意味を込めて「しなのき」としました。ためになる、おもしろい内容を追求していきます。ご愛読のほどお願いいたします。

トピックス

170人が参加、多職種  
合同の演題発表会開く

長野地域連絡会第8回学術運動交流集会

長野中央病院では毎年、法人内関連施設の職員が一堂に会して、職場での日頃の取り組みを多くの仲間と共有しています。今年の交流集会では、医師はじめ看護、介護、技術、事務職の170人が参加。リニューアル後の病院や社会保障を伝える報告があり、症例や考察、業務・職場紹介など39演題が発表され、質疑を行いました。

長野中央病院 総務課  
地域連絡会学運交事務局長 荒井正和



職場紹介

こんにちは、  
患者支援室です

患者支援室は、疾病に関することや生活上及び入院上の不安等、様々な相談に丁寧に対応し、医療側と患者側の対話を促進することを目的とし、第9期工事の際に、1Fに設置されました。専任職員は2名。面談ブースとして、個室やカウンターを設け、相談しやすく開かれた患者支援室を目指し頑張っています。「どこに相談すればいいの?」「こんなこと聞いていい?」という時は、患者支援室をご利用ください。

患者支援室 竹内・酒井



取り組み

楽しく感染対策

病院には、院内感染対策委員会、インфекション・コントロール・チーム (ICT)、職場感染対策委員会、看護感染対策委員会があり、それぞれの役割を発揮し、感染対策に取り組んでいます。院内でインフルエンザやノロウイルス等の感染症が流行しないように、基準に沿って学習や訓練をしています。病院祭では毎回「手洗いチェックコーナー」を設け、来場者に手洗いチェックをしていただき、正しい手の洗い方をお話しています。モットーは楽しく感染対策に取り組むことです。

院内感染管理者 轟恒子



長野医療生活協同組合

長野中央病院

〒380-0814 長野市西鶴賀町 1570  
TEL.026-234-3211 FAX.026-234-1493  
http://www.nagano-chuo-hospital.jp/

